

響け歌声!

第23回

しあわせを呼ぶコンサート

宮前区には、様々な障がいがある皆さんが利用している施設や作業所があります。そこに通う皆さんが集い、練習を重ねてベートーヴェンの「第九」を原語で歌います。会場のロビーでも、施設や作業所で製作した物品等の販売を行います。みんなで心を合わせた練習の成果を、是非聴きにいらして下さい。

入場無料・先着順

(席数 800席)

お席に限りがありますのであらかじめご了承ください。

2025年 9月10日(水) 13:30 開演 12:30 ロビー開場 13:00 ホール開場

宮前市民館大ホール

東急田園都市線「宮前平駅」下車 徒歩10分 宮前区役所となり
※車でのご来場はご遠慮ください。

参加

宮前障がい者施設・作業所連絡会

あーる工房 / いぬくら / 工房じんべい / しらはた / セルフ宮前こぼと / 厨房じんべい /
トゥーランプラン宮前 / 長尾けやきの里 / 宮前ふれあいの家 / 宮前フレンズ / れいんぼう川崎

合唱指導 寺澤 直樹

合唱賛助出演 混声合唱団 樹林 ほか

● 指揮 阿部 未来

● ゲスト 石田泰尚とオーケストラ

富平 安希子(ソプラノ) 富岡 明子(メゾ・ソプラノ) 新海 康仁(テノール) 狩野 賢一(バス・バリトン) 山田 武彦(ピアノ)

演奏曲目

◆ 第1部:合唱ステージ

司会 / 飛田 純希

社会福祉法人 育桜福祉会

宮前障がい者施設・作業所連絡会のみなさんによる合唱

♪ さんぽ -映画「となりのトトロ」より (久石譲)

♪ 勇気100% (馬飼野康二)

♪ 交響曲第9番「合唱付き」第4楽章「歓喜の歌」より抜粋 (ベートーヴェン)

演奏 石田泰尚とオーケストラ

◆ 第2部:ゲストステージ

司会/永井 邦子

富平 安希子(ソプラノ) 富岡 明子(メゾ・ソプラノ) 新海 康仁(テノール) 狩野 賢一(バス・バリトン) 山田 武彦(ピアノ/伴奏)

♪ 合唱曲「ふるさとの四季」(編曲:源田俊一郎)

山田 武彦(ピアノ/ソロ)

♪ 愛の挨拶 (エルガー)

石田泰尚とオーケストラ

♪ セレナータ・ノットルナ (モーツァルト)

♪ 「四季」より秋 (ヴィヴァルディ)

♪ シンドラーのリスト (J.ウィリアムズ)

♪ リベルタンゴ (ピアソラ)

◆ 客席合唱ステージ

♪ 上を向いて歩こう (坂本九)

♪ 花は咲く (菅野よう子)

ゲスト出演者プロフィール



◆ コンサートマスター: 石田 泰尚(いしだ やすなお)

川崎市出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミュゼ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年、及び2024年に開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた「石田組 結成10周年記念 2024・春」が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は 1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



◆ ソプラノ: 富平 安希子(とみひら あきこ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。明治安田生命クオリティ・オブ・ライフの助成により渡独しシュトゥットガルト音楽大学を最優秀で修了。バイエルン州立歌劇場オペラ研修所にて研鑽を積み同劇場他ドイツ各地の劇場で活躍する。国内では、二期会『魔笛の射手』エンヘン、『椿姫』題名役、日生劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、新国立劇場『カルメン』フラスキータ等数多くのオペラ公演に出演。特に二期会『ルル』題名役「影のない女」皇后等の難役においての確かな音楽性と卓越した演技力が高い評価を得た。オーケストラとの共演やドイツリート等歌曲の分野においても活躍の場を広げている。今年11月には全国共同制作オペラ『高野聖』に女役で出演予定。二期会会員。



◆ メゾ・ソプラノ: 富岡 明子(とみおか あきこ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中に安宅賞、同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞。伊パルマ音楽院に学び首席にて学位取得。F・ラガー国際声楽コンクール、日本音楽コンクールなど国内外で入賞多数。パルマ歌劇場「試金石」クラリーチェ、ペーザロ・ロッシーニフェスティバル「ランスへの旅」マッダレーナ、小澤征爾音楽塾及び日生劇場「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、二期会「ノルマ」アダルジーザなど多くのオペラに出演。コンサートにおいても「第九」をはじめ、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」、バッハ「ヨハネ受難曲」等のソリストとして活躍。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



◆ テノール: 新海 康仁(しんかい やすひと)

山梨県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、および同大学院修士課程修了。二期会オペラ研究所マスタークラス修了、修了時に最優秀賞、及び川崎静子賞受賞。文化庁新進芸術家海外研修制度でイタリアに留学。《スペイン時間》のゴンサルヴェ役での二期会デビューでは天性の美声と確かな存在感を示した。そのほか《ジャンニ・スキッキ》リヌッチョ、《仮面舞踏会》リッカルド、《ラ・ボエーム》ロドルフォなどを演じるほか、《第九》、《カルミナ・ブрана》、モーツァルト《レクイエム》などのテノールソロを務めるなど、活動の幅を広げている。現在、東京藝術大学大学院非常勤講師。二期会会員。



◆ バス・バリトン: 狩野 賢一(かのう けんいち)

国立音楽大学卒業、同大学院修士課程声楽専攻首席修了。二期会オペラ研究所修了。第9回藤沢オペラコンクール奨励賞。様々な宗教曲ソリストを務める他、「第九」ソリストとして小澤征爾氏と共演。「ドン・ジョヴァンニ」レポレツォでオペラデビュー後、文化庁委託人材育成オペラ、小澤塾特別演奏会、東京二期会、日生劇場、東京・春・音楽祭等において、「魔笛」ザラストロ、「ばらの騎士」オックス男爵、「ノルマ」オロヴェーゾ、「タンホイザー」ヘルマン方伯、「ルル」シゴルヒ、「カプリエティとモンテッキ」カペツリオ、「ドン・カルロ」宗教裁判長、「イオランタ」ルネ王等を演ずる。二期会会員。



◆ 指揮: 阿部 未来(あべ みらい)

2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻(ピアノ)卒業。2009年東京音楽大学大学院科目等履修生作曲・指揮専攻(指揮)修了。2010年アフィニス夏の音楽祭2010“山形”に指揮研究員として参加、飯森範親氏の薫陶を受ける。2011年ロータリー財団国際親善奨学生としてドイツ国立ドレスデン「カール・マリア・フォン・ウェーバー」音楽大学指揮科に留学。2015年4月から2019年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、2021-22年度セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。2020年度山田貞夫音楽財団第2回指揮者オーディションにて、山田貞夫音楽賞並びに特選受賞。現在、名古屋音楽大学非常勤講師。



◆ ピアノ: 山田 武彦(やまだ たけひこ)

東京藝術大学大学院修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、審査員の満場一致により首席で一等賞を得て卒業。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。最近では、三浦一馬キンテート、東京グランド・ソロイスツ(TGS)などユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学ソルフェージュ科主任、洗足学園音楽大学客員教授。